大学院特別講義

（医歯学先端研究特論）（生命理工学先端研究特論）
（生命理工医療科学先端研究特論）（医歯理工学先端研究特論）

下記により大学院特別講義を行います。受講希望者は、
3 月 15 日（月）までに下記の連絡先までお問い合わせください。

記

講　師:　医療法人社団　平和歯科医院　阿部　修　先生
演　題:　歯内療法の臨床:細菌学的思考で解決に導く
　エビデンスとテクニック
日　時:　令和 3 年 3 月 18 日（木）17:00～20:00
場　所:　Zoom による遠隔講義

抄　録:

看板のない医院を承継開業し、そのスタイルを維持しつつ「できる限り歯を残す」という理念の下、全ての治療を自由診療で行っています。そのような環境から、殆どの患者が「治らない」、「症状が消えない」、「抜歯を勧められている」というような複雑な問題を抱えています。できる限り歯を残すためには、歯内療法の質を高めることが必須であると考え、そのための努力を続けています。受診患者の傾向としては、保存への希望が著しく強く、そして外科的治療はできる限り避けたいという方が多くを占め、非外科的治療による解決を強く求められます。当然、外科的対応が不可欠な症例もありますが、基本的には問題を引き起こしている原因を特定し、それを取り除くことで多くの症例が通法で治癒に導かれると感じています。本講演では、歯内療法難症例を開業医としてできるだけ自院で解決するために、どのような診査診断と治療を行っているのかを、症例を通して解説をさせていただきます。マイクロスコープや CBCT の応用は勿論のこと、より強く細菌学的な問題を意識することが解決への鍵であると考えています。

連絡先:　川島伸之（歯髄生物学分野　内線　5494）e-mail: kawashima.n.endo@tmd.ac.jp